

授業における ICT 機器利活用のイメージをもつ

ICT 機器を利活用した授業実践に向けて（第1回／全2回）

◆ 主な流れ（参考時間 20 分間）

1 導入【約 2 分】

- ・校種を問わず授業における ICT 機器の利活用が全国の学校現場で浸透し始め、一定の成果が出ている点などを説明する。
- ・ICT 機器をどのように取り入れていけばよいか先生方にイメージをもってもらうため、MIYAGI Style の動画を観ていただくことを説明する。

2 ビデオ鑑賞【約 5 分】

- ・MIYAGI Style の動画の前半部分（実践例を提示している約 5 分間）を視聴する。

3 討議【約 10 分】

※冒頭 2 分間程度は、個々人でワークシート作成（(1), (2)）の時間とする。

- ・3～4 名単位でグループをつくり、ワークシートを用いながら ICT 機器の利活用についてのグループワークを行う。
- ・中学校や高校では、グループを教科毎に作るなどの工夫も考えられます。

4 まとめ【約 3 分】

- ・グループワークで話し合った内容をグループ毎に発表する。

リーダーからの話（例）

近年、校種を問わず授業において ICT 機器を利活用するか否か、という点から ICT 機器をどのように利活用するか、という点に話し合いのポイントが移り、かつ授業での ICT 機器の利活用が徐々に浸透し、特別な教具ではなくなりつつあります。その効果は、「興味・関心を高めることができる」、「生徒の表情を確かめながら授業を進めることができる」、「生徒の視線を前方に集中させることができる」、「提示教材の切り替え・再提示が容易である」などが挙げられます。しかし、ICT 機器を授業の中でどのように利活用すればよいかイメージが湧かないという先生方もいると思いますので、これから ICT 機器の具体的な利活用の仕方を示した動画をご覧ください。その後、ワークシートを用いての話し合いをしていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

ワークシート

氏名：

(1) 実践例の動画を見た感想等をお書きください。

(2) MIYAGI Style の動画も参考にして、ICT 機器の利活用法の例について、該当する欄に○を付けてみてください。

| ICT 機器の利活用法（例） | できそうだ | やってみたい |
|--|-------|--------|
| 1. 長文や問題文、図、表等を提示し、板書の時間を短縮する | | |
| 2. 資料中の注目させたい部分や小さなもの等を拡大提示し、分かりやすくする | | |
| 3. 生徒が書いたノートやワークシートを撮影して提示し、意見や考えを効率よく共有できるようにする | | |
| 4. 個々に応じた補足やヒントを提示し、生徒の理解や思考・判断を支援する | | |
| 5. その他 …思いつくことがあれば書いてみてください | | |

(3) グループ内で話し合われたことをお書きください。

(4) 授業での ICT 機器の利活用に関する質問や情報化推進リーダーへの要望などをお書きください。